

1. 本研究の全体像

博士論文「公共施設屋外におけるパブリックスペイシャル・ファシリティマネジメントに関する研究」

研究の目的

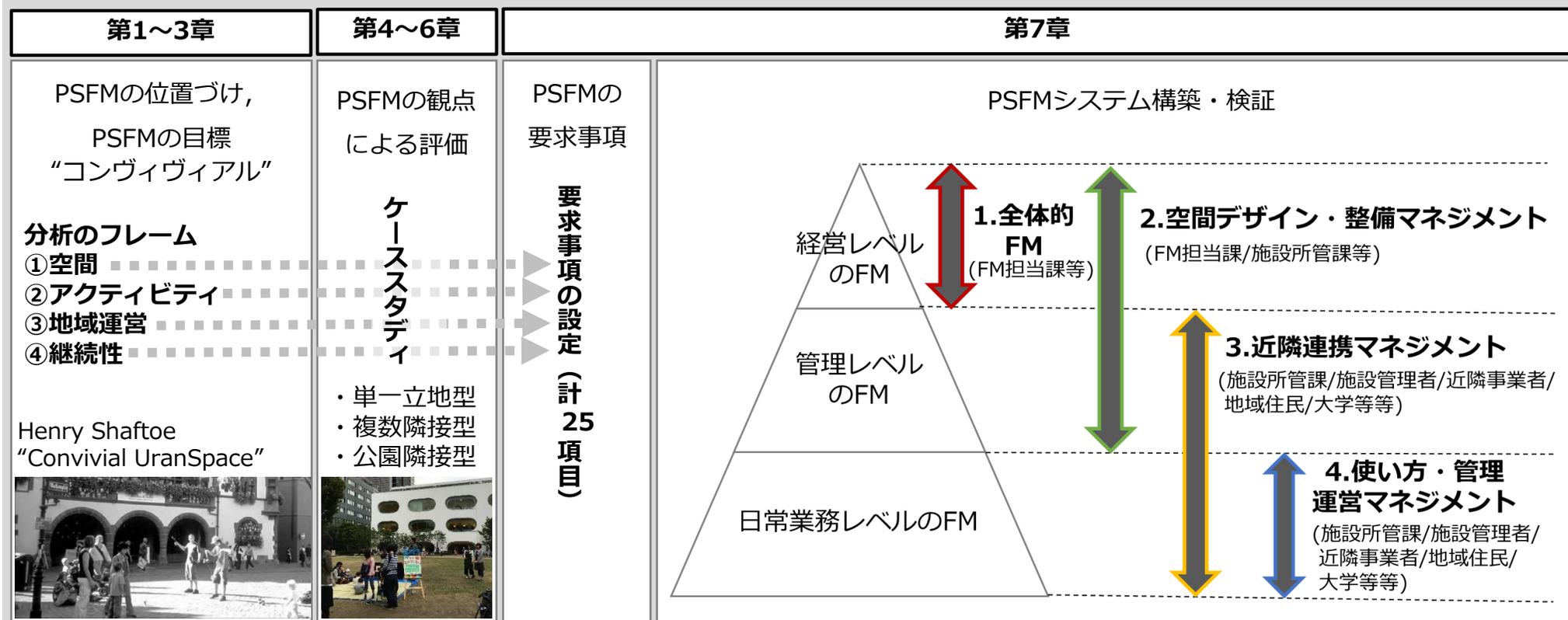
公共施設の屋外空間において、**パブリックスペースの機能を発揮するためのマネジメントシステムを構築する**

従来の公共施設FMにおける屋外空間に関する課題の構造

- ①屋外空間は「**外構**」という概念のみで捉えられてきた
- ②自治体の財政上の課題から、屋外空間には**最低限の費用**のみ
- ③近年は屋外空間の**活用に関する期待の高まり**
- ④しかし、**マネジメントするための視点や方法が未確立**



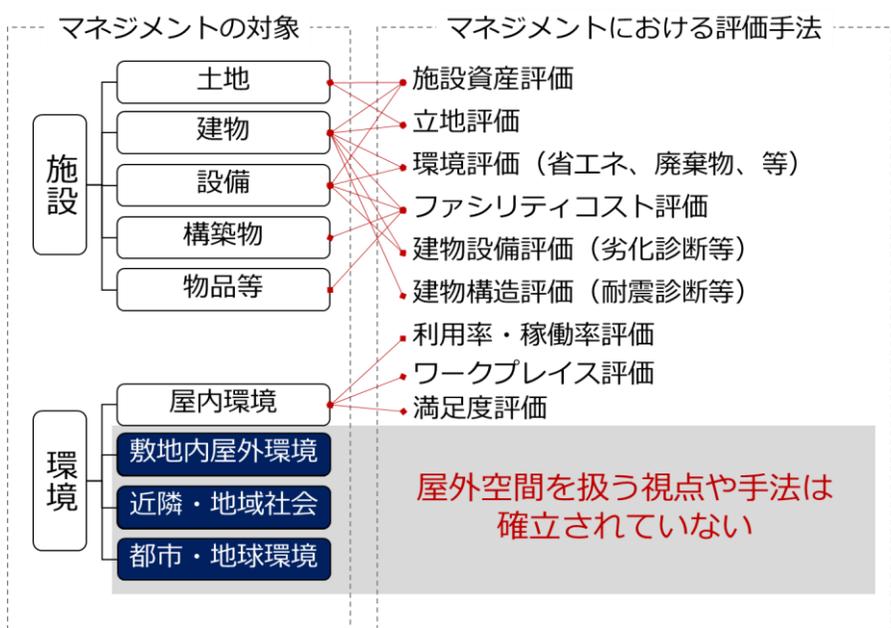
従来の公共施設FMにおける屋外空間に対する概念から脱却し、
パブリックスペースの機能発揮を志向する
「**新たなマネジメント論**」の必要性
「**Public Spatial Facility Management**」の提案



2. 本研究のポイントと効果

本研究のポイント

これまでの公共施設のFMにおいて視点や方法が確立されていなかった屋外空間に着目し、**新たなマネジメントの概念として「パブリックスペイシャル・ファシリティマネジメント (Public Spatial Facility Management : PSFM) 」を提示**



現在も多くの「にぎわい広場」「交流広場」「市民広場」等が生み出されている
⇒適切なマネジメントがなされないままの空間ストックが蓄積していく可能性



PSFMの定義

公共施設の屋外空間をパブリックスペースとして捉え、その機能を発揮させることを意図した組織的・継続的な取り組み

PSFMの特徴

- ①パブリックスペースという概念で捉え目標を具体化
- ②大きな投資を前提とせずに、空間の質向上に寄与

PSFMの意義

パブリックスペースの在り方がまちの在り方に大きく影響するといわれる現代において、既に膨大な空間ストックがある公共施設の屋外空間の観点から、新たなマネジメント論を提示する

本研究の効果

これまで「外構」と呼ばれ積極的な利活用の対象となっていなかった屋外空間に関して、**具体的なマネジメントシステムとしての「PSFMシステム」を提示**

⇒適切なマネジメントによる空間の質向上及び活用の可能性、地域におけるパブリックスペースとしての価値を示唆

◆マネジメントのレベルにより4段階で整理

- ①全体的FM
- ②空間デザイン・整備マネジメント
- ③近隣連携マネジメント
- ④使い方・管理運営マネジメント

◆21個の要求事項及び4個の特記事項 (合計25項目) を提示

◆PSFMシステムの位置づけ



3. 本研究で提示する「PSFMシステム」

PSFMシステムの構造		PSFMの担い手	要求事項
1	全体的FM	FM担当課	①-1 ：パブリックスペースに関する量的目標・質的目標の明確化 ③-2 ：地域の生業や歴史，気候風土，等を考慮したパブリックスペースの機能の設定とマネジメント ④-3 ：パブリックスペースに対する自治体のニーズと地域のニーズの整合 他，2つの要求事項及び1つの特記事項
2	空間デザイン・ 整備 マネジメント	FM担当課 施設所管課	①-3 ：屋外空間が狭い場合も市民の目や手に触れやすい場所への緑化 ①-6 ：屋外空間を眺められる・容易に屋外に出られる屋内空間の計画 他，5つの要求事項及び1つの特記事項
3	近隣連携 マネジメント	施設所管課 施設管理者 近隣事業者 地域住民 大学等	②-4 ：計画段階から道路・公園・隣地等のパブリックスペースとの連携の検討によるアクティビティの 多様性創出・安全性確保 他，3つの要求事項 単・複②-1 ：パブリックスペースを地域の利便性向上やコミュニケーションの場として機能させるよう， 行政財産目的外使用許可等の弾力的運用 ③-3 ：平常時及びイベント時におけるパブリックスペースの管理者・市民・事業者等の相互連携 ④-2 ：地域性（住民属性・地域組織の状況・関連事業者の有無等）に即した自治体と地域の役割分担
4	使い方・ 管理運営 マネジメント	施設所管課 施設管理者 近隣事業者 地域住民 大学等	公②-2 ：施設屋内と公園双方のアクティビティ創出の可能性を考慮したルールの設定と運用 他1つの特記事項 ③-1 ：パブリックスペースのマネジメントに市民・事業者等が参加できる組織・仕組みの構築 ④-6 ：パブリックスペースのマネジメントに対する市民意識の醸成 他1つの要求事項

※①空間，②アクティビティ，③地域運営，④継続性の観点による要求事項／特記事項…単：単一立地型，複：複数施設隣接型，公：公園隣接型

4. 今後の課題と展望

本研究では扱わなかった多様なパラメーターの選定
 敷地周辺環境，施設利用状況，施設用途，マネジメントの継続年数，
 マネジメント主体の特徴，ネットワーク化，等

